

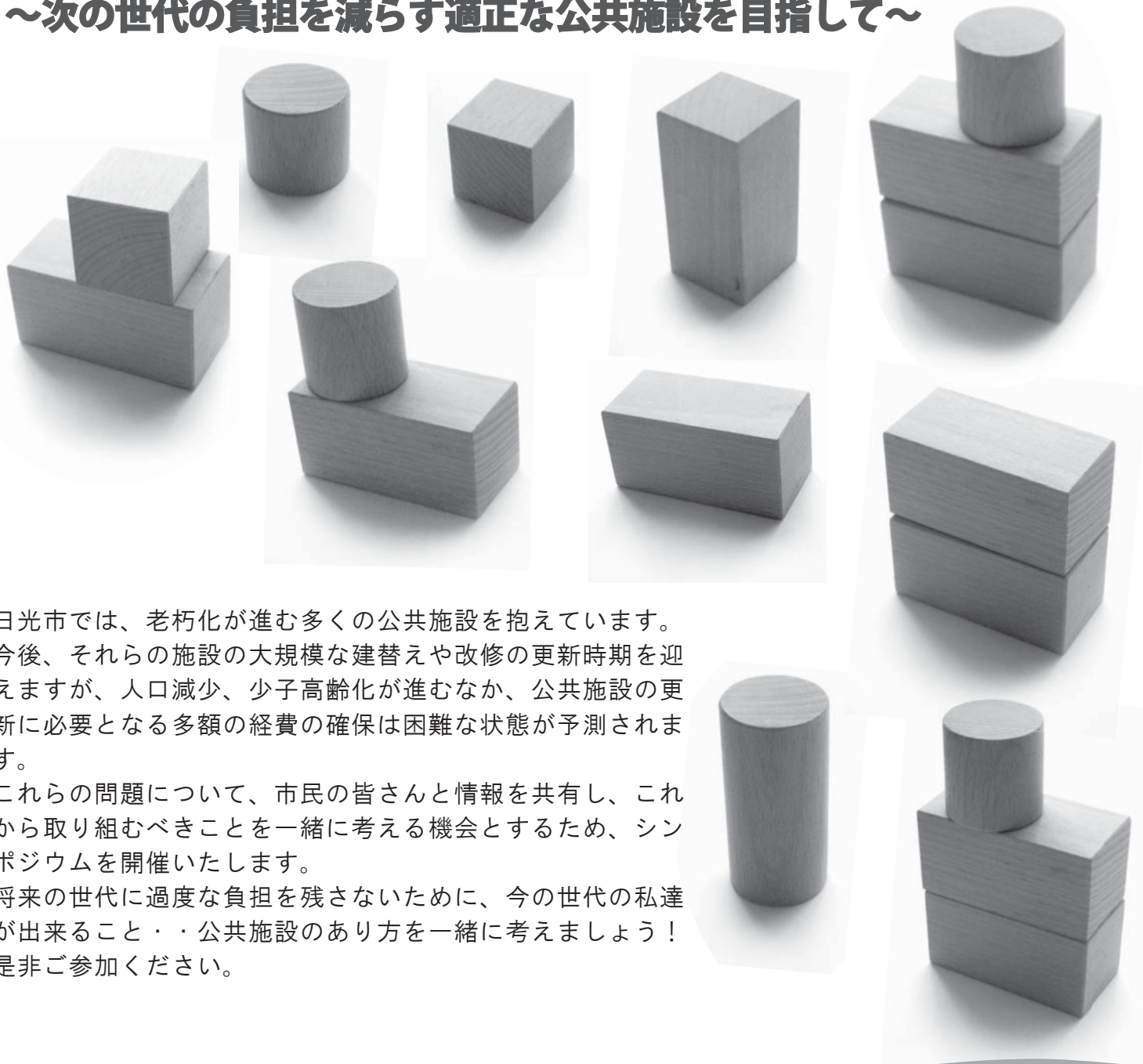
市民シンポジウム

「日光市の公共施設（ハコモノ）の未来を考えよう」

～次の世代の負担を減らす適正な公共施設を目指して～

参加無料

(先着 200 名)
是非ご参加下さい



日光市では、老朽化が進む多くの公共施設を抱えています。今後、それらの施設の大規模な建替えや改修の更新時期を迎えますが、人口減少、少子高齢化が進むなか、公共施設の更新に必要な多額の経費の確保は困難な状態が予測されます。

これらの問題について、市民の皆さんと情報を共有し、これから取り組むべきことを一緒に考える機会とするため、シンポジウムを開催いたします。

将来の世代に過度な負担を残さないために、今の世代の私達が出来ること・・・公共施設のあり方を一緒に考えましょう！是非ご参加ください。

公共施設のあり方を考えるシンポジウム

平成 27 年 1 月 24 日 (土)

✓ 会場：日光市中央公民館
中ホール

開場 12:30

開演 13:30 ～ 16:30

(終了予定)

主催：日光市

問合せ先：行政改革課

☎：0288-25-7722

会場案内



交通アクセス

🚶 J 今市駅より 800m :
徒歩約 10 分、
タクシー利用約 3 分

東武線下今市駅より
1200m 徒歩約 15 分、
タクシー利用約 7 分

P 施設内にあり (文化会館
青少年勤労ホームと共同)
220 台・無料

公共施設のあり方を考える シンポジウム

本市では、戦後の急激な人口増加や高度経済成長に伴う社会的ニーズなどに対応するため、昭和40年代から平成にかけて公共施設を整備し、現在では663施設、延床面積で53.6万㎡に及ぶ公共施設を所有していますが、施設の老朽化を始めとして多くの課題が出てきています。



基調講演者

東洋大学経済学部 客員教授



南 学氏

昭和28年、横浜市生まれ。昭和52年、東京大学教育学部卒業。同年横浜市役所に勤務。平成元年海外大学留学派遣でカリフォルニア大学(UCLA)大学院に留学。帰国後、市立大学事務局、市長室、企画室を歴任し、平成12年静岡文化芸術大学文化政策学部助教授に就任。神田外語大学教授、神奈川大学特任教授を経て現職。
自治体の経営・マネジメントを研究。また、行政刷新会議の事業仕分けにも民間評価者(仕分け人)として参加。
著書に『自治体アウトソーシングの事業者評価』、『行政経営革命』、『改革エンジンフル稼働』など多数

日光市 市長



斎藤 文夫

公共施設の更新問題は、日光市にとって早急に取り組まなければならない問題です。今回のシンポジウムが、次の世代に負担を残さない公共施設のあり方を皆さんと共に考えるきっかけとなることを期待します。

パネルディスカッション

西尾真治氏

市民検討委員会アドバイザー

平成6年に三菱UFJリサーチ&コンサルティング(当時：三和総合研究所)に入社後、平成22年にさいたま市 行財政改革推進本部 副理事に就任。平成26年復職。その他、現在もさいたま市公共施設マネジメントアドバイザーや地域総合整備財団公民連携アドバイザーを歴任

佐藤栄治氏

市民検討委員会アドバイザー

宇都宮大学大学院工学研究科地球環境デザイン学 助教
明星大学、厚生労働省国立保健医療科学院を経て現職、エヴィデンスに基づいたまちづくり、医療・福祉の都市計画が専門、日光市下原地区公共施設整備検討事業検討委員会アドバイザーを歴任し、他の自治体とも連携

稲垣保男氏

市民検討委員会 副委員長

日光市公共施設適正配置に係る市民検討委員会その他、地域審議会委員、本庁舎整備検討市民委員会委員等を歴任

阿久津京子氏

市民検討委員会 委員

きぬがわ国際ホテル女将。日光市観光協会の推薦により、日光市公共施設適正配置に係る市民検討委員会委員

■プログラム

13:30	I. 開会	日光市市長 斎藤 文夫	・市長あいさつ
13:35	II. 基調講演	南 学氏	「公共施設マネジメントの必要性」 ～発想転換の資産管理～
14:30	III. 施策説明	行政改革課 矢嶋 尚登	・情報を共有しよう！ 「日光市の公共施設の現状と課題 及びマネジメントの取り組み状況」
14:50	休憩	(会場アンケート記入)	
15:05	IV. パネル ディスカッション	進行役 望月 伸一氏 (ファインコラボレート研究所 代表取締役) テーマ「どうする！どうなる！日光市の公共施設」 パネリスト 西尾 真治氏 佐藤 栄治氏 稲垣 保男氏 阿久津京子氏 会場にお越しの皆さまとの質疑応答	
16:30	V. 閉会		